

お知らせ

記者発表資料 | 令和 6年 9月 30日

(14:00解禁)

- 同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

国営備北丘陵公園等におけるコンセッション導入可能性の検討に向けたサウンディング調査の実施について

【概要】

国土交通省では、PPP/PFI推進アクションプラン（令和6年改定版）（令和6年6月3日民間資金等活用事業推進会議決定）に基づき、国営公園におけるコンセッションについて、令和8年度中の導入（公募）を目標として、導入可能性の検討を進めております。

このたび、国営備北丘陵公園および国営讃岐まんのう公園において、現時点における国の制度設計案（基本スキーム案）を示し、幅広く民間事業者の意見を募集するサウンディング調査（官民対話）を実施します。

詳細は、[国土交通省都市局記者発表資料をご参照下さい。](#)

（国土交通省都市局記者発表 掲載 URL）

https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi10_hh_000508.html

（サウンディング調査の案内 掲載 URL）

https://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_tk_000186.html

<問い合わせ先>

中国地方整備局 082-221-9231（代表）（平日・昼間）

建政部 都市・住宅整備課長 なか ふる あつ のり 中 古 淳 法（内線 6161）

【担当】建政部 都市・住宅整備課長補佐 みつ い しん すけ 光 井 伸 典（内線 6163）

令和 6 年 9 月 30 日
都市局公園緑地・景観課

国営備北丘陵公園および国営讃岐まんのう公園における コンセッション導入可能性の検討に向けたサウンディング調査について

国土交通省では、PPP/PFI 推進アクションプラン（令和 6 年改定版）（令和 6 年 6 月 3 日民間資金等活用事業推進会議決定）に基づき、国営公園におけるコンセッションについて、令和 8 年度中の導入（公募）を目標として、導入可能性の検討を進めております。

このたび、国営備北丘陵公園および国営讃岐まんのう公園において、現時点における国の制度設計案（基本スキーム案）を示し、幅広く民間事業者の意見を募集するサウンディング調査（官民対話）を実施します。

1. サウンディング調査の対象となるモデル公園

- ・国営備北丘陵公園 広島県庄原市三日市町 4-10 ・ ・【参考 1】
- ・国営讃岐まんのう公園 香川県仲多度郡まんのう町吉野 4243-12 ・ ・【参考 2】

2. 今後のスケジュール（予定）

- ・令和 6 年 9 月 30 日（月） 本調査の実施要項等の配布開始
- ・令和 6 年 10 月 25 日（金） 参加申込・提案書提出期限
（提案書をご提出いただいた後、個別にヒアリングをさせていただく予定です。）
- ・令和 7 年 3 月頃 サウンディング結果概要の公表

3. サウンディング調査への参加方法

以下の URL にリンクされている「関心表明書」及び「守秘義務誓約書」に必要事項をご記入の上ご提出いただいた事業者に、公園の管理運営に係る資料等（守秘義務資料）を送付致します。

※詳細は、以下の URL にリンクされているサウンディング調査実施要項等をご参照ください。

（サウンディング調査の案内掲載 URL）

https://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_tk_000186.html

【問い合わせ先】

都市局 公園緑地・景観課 岡部、平田

電話：03-5253-8111（内線 32-942、32-947）、03-5253-8419（直通）

国営備北丘陵公園の基本情報

基本情報

名称	国営備北丘陵公園
種別	イ号国営公園
所在地	広島県庄原市三日市町4-10
事業着手年度	昭和57年度
供用開始年度	平成7年度
公園管理者	中国地方整備局
敷地面積	約339ha
入園者数	45.0万人（令和5年度）
概要	国兼池とアカマツ林の丘陵地約340ha(東西約3.5km、南北約1km)に、中国地方全体からの誘客を目指してつくられた、中国地方では初めての国営公園



図：公園の位置（広域）

沿革

時期	沿革
昭和57年	事業化
昭和60年	都市計画決定
平成3年	工事着手
平成7年	中入口センターエリア・ひばの里等供用開始（供用面積約80ha）
平成11年	星の里（オートビレッジ）等供用開始（供用面積約47ha）
平成14年	第二駐車場供用開始（供用面積約3ha）
平成15年	つどいの里（グラウンドゴルフコース等）供用開始（供用面積約49ha）
平成20年	北入口センターエリア・みのりの里供用開始(供用面積約43ha)
平成22年	みのりの里供用開始(供用面積約7ha)
平成24年	いこいの森供用開始（供用面積約109ha）【全園開園：334ha】



図：公園の位置（周辺拡大）

国営備北丘陵公園の公園内のエリア

本公園は、基本方針に基づき、8つのエリア（①中入口センターエリア、②ひばの里、③つどいの里、④水辺の里国兼池、⑤北入口センターエリア、⑥みのりの里、⑦備北オートビレッジ、⑧いこいの森）が設定されている。

8 【いこいの森】
公園内で最も起伏に富んだ地形を有し、自然環境保全の観点から豊かな自然を残して整備されたエリア

7 【備北オートビレッジ】
本公園の野外宿泊利用の拠点となるキャンプ場やコテージ等があり、アウトドアライフを体験することができる。

1 【中入口センターエリア】
本公園で公園利用の案内、飲食、物販施設があるエリア。花の広場では、季節毎の花風景を楽しむことができる。

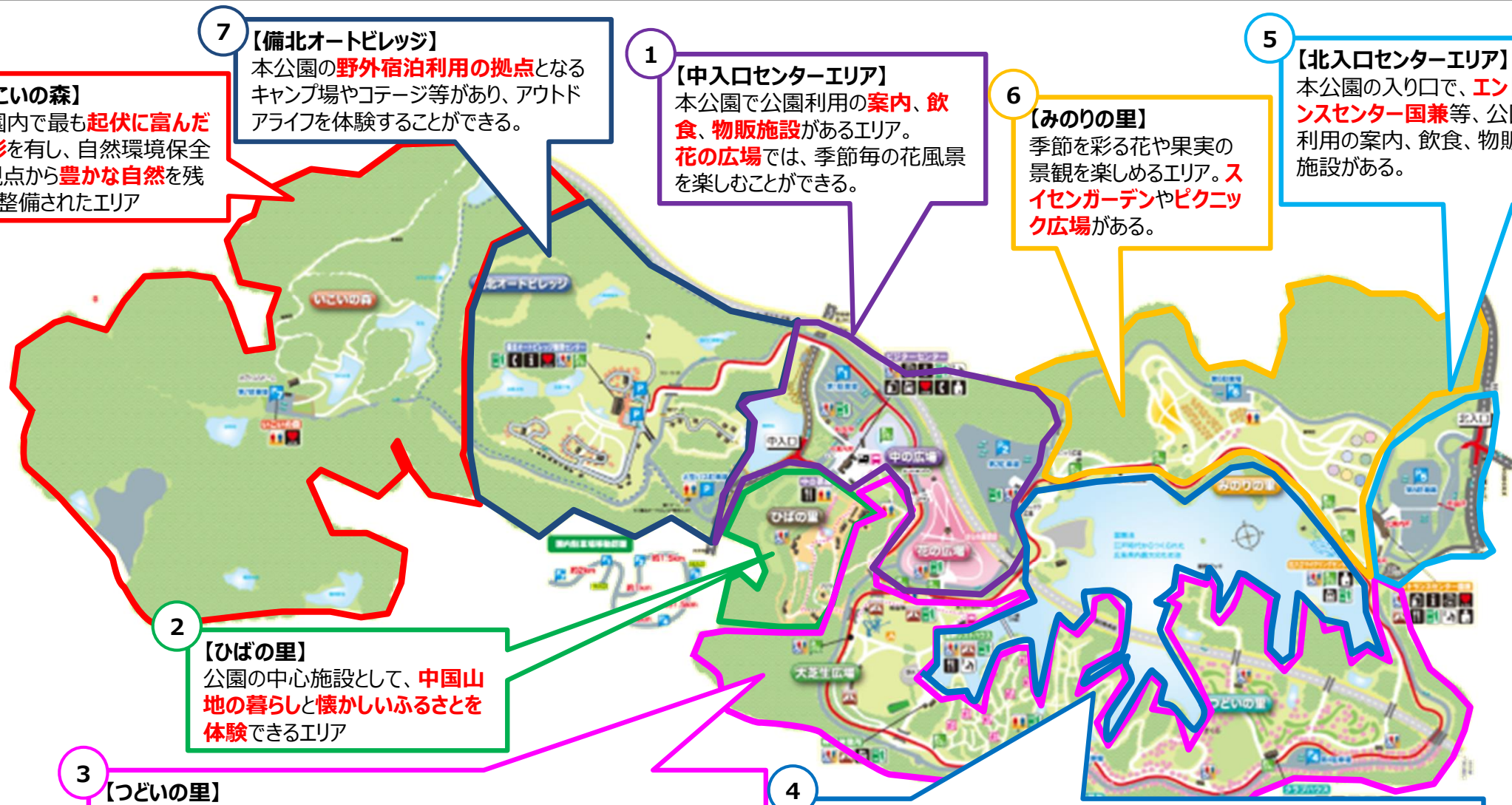
6 【みのりの里】
季節を彩る花や果実の景観を楽しめるエリア。スイセンガーデンやピクニック広場がある。

5 【北入口センターエリア】
本公園の入り口で、エントランスセンター国兼等、公園利用の案内、飲食、物販施設がある。

2 【ひばの里】
公園の中心施設として、中国山地の暮らしと懐かしいふるさとを体験できるエリア

3 【つどいの里】
本格的な「グラウンドゴルフコース」、広大な芝生広場、「ちびっ子ゲレンデ」、大型複合遊具などがあり、林間のスポーツ・レクリエーションやイベント、遊びの場として人々が集うエリア

4 【水辺の里国兼池】
県内最大のため池で、地域の農業用水源となり、利用者に安らぎを与える水辺空間としてのエリア



国営備北丘陵公園の基本理念・基本テーマ・基本方針

本公園は、周辺環境との調和と連携を図り、森と湖に囲まれた緑豊かな自然の中で、中国地方の歴史や文化のふれあいや多様なレクリエーション活動を通じて、人間性の回復と向上の場となるような公園とする。

基本理念

- ① 緑豊かな自然へのいざない
- ② 中国地方の歴史や文化とのふれあい
- ③ 多様なレクリエーションへのしたしみ
- ④ 周辺環境とのつながり

基本テーマ

- ・ 「ふるさと・遊び」

基本方針

- ① 国兼池を中心とした湖畔景観や、丘陵景観等の自然を生かした公園
- ② 中国地方の古い文化の継承や、新しい文化をはぐくむことのできる公園
- ③ 四季にわたる多様なレクリエーションに対応できる公園
- ④ 中国地方の全域から利用できる公園
- ⑤ 地域とのふれあいのできる公園